

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場取引所 JQ

上場会社名 岩塚製菓株式会社

コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷 芳夫

TEL 0258-92-4111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	15,516	△0.6	83	—	1,251	54.7	572	△47.1
21年3月期第3四半期	15,613	0.1	△150	—	809	101.4	1,082	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	99.02	—
21年3月期第3四半期	192.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第3四半期	55,232		32,692		59.2		5,656.16	
21年3月期	40,619		25,187		61.9		4,355.97	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 32,672百万円 21年3月期 25,162百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,950	0.3	200	—	1,300	149.1	700	△20.2	121.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	5,995,000株	21年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	218,589株	21年3月期	218,449株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	5,776,482株	21年3月期第3四半期	5,626,597株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月16日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、経済対策の効果等により一部では景気回復の兆しも見られるものの、円高が進行しデフレ傾向が強まるなかで、雇用や所得環境は厳しい状況が続いており景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

米菓業界では、依然として上位企業によるシェア争いと消費者の低価格志向・節約志向が相まって、市場価格の低下を招くなど、競争が激化いたしました。

このような経営環境において当社グループは、収益構造の抜本的改革を行うことを目的に発足させたプロジェクトVの戦略に沿って、製造ラインの見直しによる原価低減や既存商品のリニューアルを行い品質にこだわりながらも買いやすさ値頃感のある商品市場への積極的な参入によるシェア拡大の取組みは、着実に効果が表れております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間につきましては売上高155億16百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は83百万円（前年同四半期は1億50百万円の営業損失）、経常利益は12億51百万円（前年同四半期比54.7%増）、四半期純利益は5億72百万円（前年同四半期比47.1%減）となりました。

なお、経常利益につきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limitedからの株式配当金11億円を営業外収益の受取配当金で計上しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は552億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して146億12百万円の増加となりました。

流動資産は68億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億33百万円の増加となりました。これは主に、売上債権の増加及び「その他」に含めて表示しております短期貸付金が増加したこと等によるものであります。固定資産は484億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して116億79百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、225億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して71億7百万円の増加となりました。

流動負債は、75億55百万円で前連結会計年度末と比較して22億4百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は149億83百万円となり前連結会計年度末と比較して49億3百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、326億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億4百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は5億99百万円（前年同四半期比3.6%増）となり、前連結会計年度末と比較して52百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3億80百万円の収入（前年同四半期は12億75百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を反映したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は15億78百万円の支出（前年同四半期は8億51百万円の収入）となりました。主な要因は、貸付けによる支出等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は12億73百万円の獲得（前年同四半期比268.5%増）となりました。主な要因は、短期借入金の純増額等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、国内景気は不透明であり依然として、個人消費の冷え込みが予想され厳しい経営環境が続くものと考えられますが、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえた結果、平成21年10月16日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

当社グループにおきましては、顧客ニーズに対応した用途価値の向上により、シェア拡大に努めてまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	604,438	551,445
受取手形及び売掛金	4,113,212	2,646,715
有価証券	19,831	8,020
商品及び製品	82,211	62,173
仕掛品	50,452	62,992
原材料及び貯蔵品	468,426	166,203
その他	1,533,020	408,064
貸倒引当金	△52,097	△19,337
流動資産合計	6,819,495	3,886,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,592,857	4,788,240
その他（純額）	2,484,405	2,369,221
有形固定資産合計	7,077,263	7,157,462
無形固定資産	60,223	61,388
投資その他の資産		
投資有価証券	41,074,048	29,316,369
その他	208,603	205,241
貸倒引当金	△7,446	△7,379
投資その他の資産合計	41,275,206	29,514,231
固定資産合計	48,412,692	36,733,082
資産合計	55,232,187	40,619,360
負債の部		
流動負債		
買掛金	871,621	529,215
短期借入金	4,650,000	3,020,000
未払法人税等	244,802	36,336
賞与引当金	248,590	444,671
その他	1,540,829	1,320,821
流動負債合計	7,555,844	5,351,044
固定負債		
退職給付引当金	866,903	874,038
役員退職慰労引当金	110,115	103,899
繰延税金負債	13,811,461	8,938,966
その他	195,360	163,807
固定負債合計	14,983,840	10,080,710
負債合計	22,539,684	15,431,755

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	6,319,190	5,822,273
自己株式	△365,523	△365,284
株主資本合計	9,447,666	8,950,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,247,577	16,234,358
為替換算調整勘定	△22,967	△22,888
評価・換算差額等合計	23,224,610	16,211,469
少数株主持分	20,225	25,147
純資産合計	32,692,502	25,187,605
負債純資産合計	55,232,187	40,619,360

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	15,613,493	15,516,371
売上原価	10,455,383	9,962,908
売上総利益	5,158,109	5,553,462
販売費及び一般管理費	5,308,503	5,470,260
営業利益又は営業損失(△)	△150,394	83,202
営業外収益		
受取利息	1,623	15,389
受取配当金	942,441	1,117,816
その他	87,609	82,040
営業外収益合計	1,031,674	1,215,246
営業外費用		
支払利息	38,915	30,231
有価証券評価損	800	148
持分法による投資損失	12,440	3,270
その他	19,996	13,050
営業外費用合計	72,152	46,702
経常利益	809,127	1,251,746
特別利益		
投資有価証券売却益	1,179,766	—
貸倒引当金戻入額	1,594	—
その他	331	440
特別利益合計	1,181,693	440
特別損失		
固定資産除却損	1,868	4,186
投資有価証券評価損	90,477	24,012
その他	1,018	231
特別損失合計	93,364	28,431
税金等調整前四半期純利益	1,897,456	1,223,756
法人税、住民税及び事業税	566,932	543,550
法人税等調整額	253,362	113,096
法人税等合計	820,295	656,646
少数株主損失(△)	△5,093	△4,902
四半期純利益	1,082,255	572,011

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,897,456	1,223,756
減価償却費	571,513	550,937
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,190	32,827
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△163,571	△196,080
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,200	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	779	△7,134
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△300	6,216
有価証券評価損益 (△は益)	800	148
投資有価証券評価損益 (△は益)	90,477	24,012
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,179,766	—
受取利息及び受取配当金	△944,065	△1,133,205
支払利息	38,915	30,231
持分法による投資損益 (△は益)	12,440	3,270
売上債権の増減額 (△は増加)	△582,334	△1,462,779
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,668	△309,157
仕入債務の増減額 (△は減少)	261,339	332,413
その他	36,054	530,792
小計	△22,319	△373,749
利息及び配当金の受取額	944,064	1,118,440
利息の支払額	△38,890	△29,582
法人税等の支払額	△2,158,837	△335,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,275,984	380,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△10,000	△72,128
有価証券の売却による収入	—	63,564
有形固定資産の取得による支出	△344,048	△470,581
有形固定資産の売却による収入	500	—
無形固定資産の取得による支出	△3,363	△2,584
投資有価証券の取得による支出	△9,616	△6,673
投資有価証券の売却による収入	1,217,544	26
貸付けによる支出	—	△1,090,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	851,015	△1,578,376
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000	1,630,000
長期借入金の返済による支出	△276,000	△276,000
配当金の支払額	△72,859	△74,943
自己株式の取得による支出	△217	△238
その他	△5,209	△4,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	345,712	1,273,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41,184	△22,549
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△120,439	52,993
現金及び現金同等物の期首残高	699,001	546,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	578,562	599,438

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

米菓事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。